喜怒哀楽

山口 朗

3年ほど前からVISA、JCBのロゴが付いたデビットカードを発行する銀行が増えてきた。これまでの国内専用の「J-デビット」と区別するため、ブランドデビットと呼ばれることもある。

日本では商品やサービスを購入する際にデビットカードを利用する比率はまだ非常に低いが、グローバルでみると、金

切さ

ジが湧かないであろう。それと同様に、「デビット」もどんなカードなのかイメージが湧きにくいのではないだろうか。

欧州中央銀行の用語辞典には「デビットカードとは、カード保有者が現金の引き出しや商品・サービスの購入ができ、取引の直後に直接口座に請求されるデビット機能を持つカード」と記されている。つまり「利用後直ちに銀行口座から引き落とされるカード」がデビットカードである。

インターネットを見ていたら、面白い記述を見つけた。米国の高校生の娘に「デビットカードは使ったらすぐに私の口座からデビットされる（引き落とされる）から、デビットカードというのはわ

ビス」はいま

147

ンテック最新事情㉚

K.Namba

残された経営課題

「コアシステ
」。70%は「現
には急激な変化
たい」。53%は
への投資目的
にある」。こ
レガシー・シ
スする必要性

システム。
融合する

のの、まだ一
レースが2013
だけである。
コアシステム
たもので、ク
」と報道。ウ
Privatbankか
したCoreziod
に進出し、米
たと伝えた。
司は、どの銀
らの処理シス
て、クラウド
るべきだ」と
する。今まで
コアシステムを

クラウド上で動かすことに控えめな発言が続いていたが、将来には追うことになるだろうとの指摘だ。

7月22日、「寡占市場に挑戦する新コアバンキングベンダーの顔ぶれ」との報道。ここでは「40年来ビジネスを続けていたコアシステム・ベンダーの市場を突き破れるのか」と、密かに開発を進めてきていた英国のThought Machine社の参入例を紹介した。プロダクト名はVault OS（アーチ形の屋根）。クラウドベースのコアバンキング・システムだ。

銀行の高い効率性とデジタル対応力を実現するために、ブロックチェーンに似た技術と学習能力を備えているのが特徴。元Googleのエンジニア数名が開発チームに参加し、最初は既存の勘定系システムを対象に新サービスを開発しようとした。しかし、最新技術をサポートできないとの問題点にぶつかり、勘定系システムそのものを開発することに戦略転換した。当初は英国と欧州の銀行をターゲットにしていた。今は米国を含めた世界中を市場に捉えようとしている。

クラウドベースの勘定系システムは、中小規模銀行とフィンテックのチャレンジャー・バンクが最初のターゲットだ。

Runner

地域金融機関にとって地方創生は切り離せない。地元経済が活気を取り戻すことで、お金が回り、雇用が生まれるからだ。切り口はいくつかある。起業・創業に始まり、企業誘致による間接雇用もある。最近では空き家対策も兼ねた移住から人を呼び込む移住定住だったり、観光振興もテーマになっている。そんななか、愛知県一宮市に本店を置く尾西信用金庫がこれまでと一味違った町おこしに取り組んでいる。題材は芋。「ご当地ひつじカレー」による地域活性化を目論んでいる。

尾西信金地方創生室

阿部幹根室長

かつてウールの町と言われた一宮市。毛織物業が基幹産業だった。海外に押され繊維産業は衰退、むしろ名古屋まで快速電車で一駅という交通の便利さで名古屋のベッドタウンと化し、昼間の人出は少ない。

そんな窮状をはねのけようと立ち上がったのが一宮活性化プラン協議会。一宮のブランドである羊にちなんだ企画で地域を盛りたてようというわけだ。地元行政や商工会議所、企業、マスコミ、学校ら産官学民をメンバーに2011年に立ち上げた。その事務局を尾西信金が務める。会長は木村孚男理事長。

10月1日の羊フェスタを報せるポスター

「ご当地ひつじカレー」で町おこし

名古屋近郊から人呼び込み

一宮を元気に 奮闘中

これまで木曽川の河原でジンギスカン・バーベキューを企画したり、ラム肉を使った新作料理づくり、オーストラリアの食肉家畜生産者ミッションとの交流会、そして2011年10月には地元の修文女子高と焼き肉用の万能味噌ダレを開発した。「見ても愛らしく食べてもおいしい」がキャッチフレーズ。

その修文女子高との連携第2弾がラム肉を使った当地カレー。〝誰もが食べられる羊肉（ラム肉）カレー〟をより多くの人々に広く知ってもらいたい思いから、愛知県稲沢市に本社を構える食品会社「オリエンタル」が協力を買って出てくれた。

「実はオリエンタルの幹部が他部署と関係があったのが分かり、その伝手を縁に相談したのがきっかけです」（地方創生室・阿部幹根室長）と明かす。

今年5月に「138ひつじカレープロジェクト」が始動した。尾西信金の職員らが様々なカレー食べ、試行錯誤の末、大筋の構想をオリエンタルに投げかけた。そして、7月には修文女子高にラム肉を使った新作カレー「欧風カレータイプ」や「マースカレータイプ」などと4タイプの試作品を持ち込み試食会が開かれた。食物調理科の教諭や女子生徒ら25人が厳しい舌で採点した。アンケートをもとにオリエンタルがさらに味を改良していった。

今月8日には尾張一宮駅内にあるレストランで、協議会メンバーらによる最終試食会が行われた。ラム肉を60グラムに ボリュームアップし、赤ワインが利いた濃厚かつピリッとスパイシーなカレーが披露、「出席者にも大好評で合格点をもらった」と阿部室長は胸をなでおろす。10月1日に駅ビルで開催される「138ひつじフェスタII」で正式に発表される。

尾西信金は取引のあるスーパーなどと連携し、商品化の道を探っている。一方で同信金では偶数月の年金支給日に年金感謝デーを設けている。そのプレゼントにひつじカレーを発注する計画でいる。2万食を超える数になりそうだ。

阿部室長は「名古屋を含めた近隣の都市部から人を呼びたい。一宮市で消費してもらえば地元にお金が落ち、それが回ることで地域活性化につながる。信用金庫は地元があってこそ。地元を元気にするのが務め」ときっぱり。

ひつじカレーの進化形を目指し、地方創生室は次の作戦を巡らせている。

8日の試食会には木村孚男理事長も改良された新作ひつじカレーを味わった

試作品を女子高生の厳しい舌が吟味

輪舞 rondo

西野 紫園
池田 秀夫

日本の教育レベルは世界

登山電車の中の観光案内放送は、5カ
されるが、その最後は日本語であった。
かかわらず日本人観光客は多くはなか
だいに増加している日本人に対するサ
られる。電車の中で、日本語の案内が
夜に鳴かなくなったように明るい気分
日本は、経済が強くなったものの、世
目位には尊敬される国となったのだろ
のマスコミは、日本は厳目な国、劣等
自虐的に報道するので、日本人は何と
なく眼のひけた姿勢になっている。
本来のところは、世界に冠たるものが
療機構であり、アメリカで日本潰しの謀
るときは、真っ先に日本の官僚機構を
化させるか、との作戦から始まるとい
また、日本の教育レベルは、他国に
と報道されるが、国民全体の教育レベ
らく世界一だろう。
とくに国民平均の算数、数学の計算
い。ヨーロッパで買い物をして大きな
い、釣り銭をもらおうとすると、ほと
は足し算しかできず引き算ができない
とに、そのお礼の額に達するまで、足
る。
そして掛け算や割り算は、一部の人
い。スイスやフランスで、通貨の換算
すると、両替商や銀行員は計算ができ
の人は比例式ができないので、お手上
しまう。このように国民全体の教育、